

# 常新日新聞

定額一圓全取一円五分五銭増徴五銭  
 廣告料五割 印刷費一割五分  
 日曜日休刊  
 発行所 常新日新聞社  
 印刷所 常新日新聞社  
 電話 六三〇番

## 高野行き

多賀達夫

それから火の氣のない部屋に歸ると主人は爐のそばで呼ぶのだつた。「如何でした湯は？」とたづねられた今迄悪罵してゐた矢先を柔らかに話しかけられ友人と顔を合せた。いやいやと私は頭を掻きながら「大變結構な湯あんばいでした」と妙な挨拶をしたのである。友人は友人で「これは歌集のやうですね」と側にあつた本をとり上げたのである。ところでこれが非常に好結果をもたらした。

「わしは歌が道樂でしてね、まあ、それで若い時分からこつてゐるやうな始末なんです」と来たものである。すると友人は何を思つたか「この人は小説家です」と私の方に顔を向けたのだ私は面喰つた、せめて文學青年とでも云つてくれるならまだしもこのこと、此の友人は時々私を小説家だと人前に放言して私を困らせる癖があつた。いま、その癖が出たのである。

「ほう、あなたが」と向き直る主人に、私は仕方なし、どうかして、いゝものを書きたいと思つてます、とてれてしまふより外になかつた。

だが一旦は辟易したものゝ意外な知己にめぐり會へた心で、私は元氣づいたこれは主人の方でも同様であつたとみえ、急に睡をかきやがして短歌にまつて語るのであつた。短歌には全く門外人である私は、相手の言葉に調子を合せかねるのであつたがしかし、主人の感動や興奮はそのまま自分のものとなつて胸に來るのである。

主人は最早九十の坂をとうに越えたと思はれる老人であつたが、「わしは啄木が好きでしてな」と幾つかの天才歌人の作品を朗詠

【朝】ジャムトースト 半熟 玉子 牛乳  
 【晝】さつま揚げ 小井 あみのつくだ煮  
 【晩】蛤鍋 小井 お多福豆  
 しては「何だか泣けさうな氣持ちですな」と二十才の青年のやうに眼をしばたいたりました。

これは省くことにする。とにかく、さうした思ひがけないたのしき時間を私ながら二時間近くすごしたのである。

眼を告げやうとした時は外は、すつかり闇になつてゐた。「徑が悪くからね」と主人は息子の道中を案する老父の様にこまごまと注意をしてくれ、やがて靴をはいてゐる私たちの後立つて來て、往年、黒岩派香か遊びに來、詠んでゐたといふ一首をさかしてくれた。五月雨の山越えればかすかなる雲の中いぞかはずなくなる

### 一冊の代金で

御希望通りな

### 五冊の雑誌が

### 白山に讀める

### 川崎巡 回文庫

(申込次第規則書進呈)

### 上田病院

平町 南町  
 電話二二九番

花環 神佛葬具  
 盛花  
 久壽玉  
 御用燈  
 寶明燈  
 靈柩自動車

# 造花

は 町 川 新 平  
 屋 本 橋  
 三六一電



西度有難おしませ  
 レストラン  
**平 岡 館**  
 電 624

皆様の足? 尼子タクシーへも豆タクが入りました  
 御立關から立關へ 迅速簡便  
 是非御利用を

市内 三〇銭  
 市外 四割引

流线型セダン  
 大型貸切バス

宮行 直通は二丁目尼子自動車部より發車いたします

平町二丁目  
**尼子自動車商會**  
 電話六四〇番

### しもやけ家傳藥

是マデしもやけハ暖カクナラネバ治ラヌモノト諦ラメテ居ツタノガ一日二三回二三回ノ御使用デクズれたしもやけモ忘レタ様ニ完全ニ治リマス。

現今ノ塗藥トハ異リ毒法ニヨリ根本カラ除去スルモノデアリマス。

しもやけハ寒サ、爲ニ皮下毛細血管ガ障害ヲ起ス爲ニナルノデ塗藥等デハ決シテ治ルモノデアリマセン、又くずれたしもやけニ塗藥デハ塗布ト同時ニ痛ミヲ感ジタリかゆみヲ増シタリ致シマスガ此藥ハ無刺戟ノ中心地良イ毒法ニヨリ皮下ノ血行ヲ良クシ幼キ御子様ガニモ喜バレ如何ニくすいたしもやけデモ完全ニ全治致ス事保證致シマス是非一度御試シトサイ。

東京丸井邦寶堂  
 平町一丁目  
**伊藤石炭店**  
 電話三四九

福島南縣特約  
 茨城 電話三四九



# 玉屋洋品店

平町田町通電話五六六番

産科 長 木村寅次郎  
 婦人科  
 外科 醫學博士 内 木 宗 八  
 藥局 藥劑士 大 岩 俊 雄

平町新川町十九  
**木村病院**  
 病室完備 入院隨意  
 電話一六四番

### 平町役場で

#### 一票行使の注意

平町は今次総選挙に當つて前回の縣議選舉の際有権者四千七十八人中三百六十六人の棄権者を出したるを遺憾とし今回は前回より三百六十六人の有権者増加を見し居るため之が徹底的肅正効果を擧げる目的で近日配布の入場券には投票に關する諸注意及選舉肅正申合事項等

#### 信組役員改選

町信組では九日役員改選を行ひ加澤組合長の再任に次いで石井主事は専務理事に昇格した

### ガソリン協議會

#### 平町で開催

廿一日鐵道關係者會堂

既報中地方のガソリンカー運轉に就いての鐵道關係東鐵、仙鐵、水戸、福島運輸事務所係員の協議會は去月

雪害の爲め延期されて居たが来る廿一日午前十時から平町住吉屋本店に開催ダイヤ編成の協議會が行はれる

### 新區設定

秋田縣とも通話

平郵便局の市外電話區域は今回秋田縣神宮寺局と通話を開始すゝか一通話九十五錢である尙郡内各局の新通話區域並に料金左の如くである

東館—小名濱—二五錢  
船引—小名濱—四倉—豊間—湯本各二五錢

宛選手の特別指導による猛練習を開始した

### 平第二校の

#### 珠算競技

来る廿八日  
平第二小學校は来る廿八日午前八時卅分より同校講堂

で五年生以上各級代表選手

### 平驛事故

#### 防止打合

平驛の事故防止委員會は来る十七日午前八時半から驛樓上に開き本年度事故防止の方針を決定する

### 海流と冷害

#### この關係を調査

農家耕作に新生面が

小名濱水産試験場の磐城丸は本縣沖合の海流と冷害との關係を調査する爲め来る十四日小名濱を出帆四日間の豫定で三百哩沖合迄の水

### 海軍工廠で

#### 見習募集

採用三百廿名  
平町職業紹介所では横須賀海軍工廠見習三百廿名の募集に着手した資格は十六才未満高小卒以上三月五日まじ受付ける

### 煙草懸賞に

#### 見事入賞

飯野村の森山氏  
水戸地方專賣局管内煙草小賣人組合聯合會主催のタバコ空小箱利用懸賞に應募した飯野村森山豊次さんは募應數三十萬の内から選ばれ見事一等に入選した

### 市場好轉で

#### 産米が高値

最近にない大量入札

本農業倉庫の産米共同販賣は昨十二日午後から行はれ四等百四十四俵五等四百二十八俵 等外百四十二俵

合計七百十六俵といふ最近にならぬ大量入札を行つたが最高は一俵建値十一圓五十一錢 最低十一圓十七錢で

東京市場の好轉から前回より二十錢の高値を見た

### 傳染病委員會

#### 平町

傳染病委員會は十二日午後二時から開き明年度豫算を決定した

平職管管内 平町職  
指導者會議 業紹介  
所管内連絡小學校指導者會議は十二日午前九時から平町役場會議室に開き今春三月卒業する小學兒童の職業指導について協議した

### 平職業紹介所報告

- 回 人を求める方  
△新聞配達 廿二才迄 月給五—十圓
- △農夫 十五六才 給料面談
- 回 職を求める方  
△自動車助手 廿二才 高卒
- △トラック助手 廿五才 高卒
- △印刷工 廿六才 高卒
- △鐵工 廿三才 高卒
- △電氣職工 卅三才 高卒

### 看護婦急派

求めに應じます

平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七

一齒科一般 保存科補綴科 繼續架  
工科 齒列矯正科 小兒齒科 齒槽膿漏科  
一口腔外科 一レントゲン科

### 中野齒科醫院

院長 日本齒科 醫學士 中野 惠次  
日本齒科 醫學士 西 川 誠  
平町出町(松月堂向ヒ)  
電話 五〇九番

呼吸疾患救済の王  
陸海軍御用  
帝國大學醫學部御用  
官公立醫學專門學校御用  
吸入川酸素  
體溫計(メイトル)  
御用命次第迅速に御届け致します  
平町古鍛冶町一〇縣社ノ下  
處方箋調劑所 阿康藥局  
電話 四四番  
振替口座東京三〇〇五番

### 耳鼻咽喉科専門

平町(電話六九一番)

病室完備 自炊便有  
山内醫院  
醫學士 山内 亨 吉

# 新家庭への 待機の姿

## 家事見習ひが 断然多い磐女卒業生

近代建築美の粹々極めた縣下一を誇る新講堂に於て最初の卒業式を挙げる磐城高等女學校の卒業生は百八十六名であるが學校は過般卒業後の方針について希望を調査中の處此程左の如く志望別が判明し級學校志望者(師範二部を含む)は二十四%、直ちに就職戦線に立つ者十%、新家庭への待機のため家庭にあつて生花の湯、裁縫を習ふ者は取り分け多く六十五%を占めてゐる

△東京女子高等師範二名  
△福島女子師範二部二名  
△東京音楽學校一名  
△日本女子大學二名  
△日本女子高等學院一名  
△實踐女子專門一名  
△川村女子學院三名  
△共立女子專門一名  
△專門學校一名  
△帝國醫學專門一名  
△聖路加女子專門一名  
△東京家政學院三名  
△大妻技藝學校二名  
△東京文化學院二名  
△就職希望十三名  
△中野事務員一名  
△日本赤十字社二名  
△日立製作所一名  
△保母一名  
△家事手傳白十九名  
△未定四名

## 開票日時・場所

### 郡内決定

石城郡内今次總選舉の開票場所名並に日時は左の如く決定した

△廿一日午前八時より平第三小學校  
△廿一日午前八時より小川尋常高等小學校  
△廿一日午前八時より植出町尋常高等小學校

## 不在投票

小名濱町柳内手吉氏所有船共徳丸乗組員四家西松氏外

き貴重な投票を行つた 尚江名町でも去々七日不在投票を行つて廿二名に達した

## 星候補の 當選祈願

伊達郡藤田町星製藥商業學校同窓生樋口彌太郎氏は第三區から立候補した星先生の當選を福島縣桐荷神社に祈願しその御守御札と現金二圓五錢を寄附された

## 第三章議會

平第三小學校は本月十二日同校一二年度學生の爲め受附指導が講師となつて童議會を開いた

## 正月休みの 自由を満喫して

片倉製糸の女工達歸る

平町片倉製糸工場の女工三百名 男工百名の従業員達は去月廿一日からの正月休で楽しい我が家に歸省一年一度の自由を満喫して居たが今十三日は愈々工場入りをするので平驛着列車には百人の團體を最高に三十名づつ一團となつて歸つて来たが同工場の作業は十五日から開始されると

## 湯本の籠拔犯人 東京で逮捕

一面識のない女を利用して 達者にも妹と騙り詐取

昨年十二月廿五日夜湯本町料理業川又家酌婦を替玉に四百五十圓を詐取逃走した籠拔犯人栃木縣鹽谷郡丹生村齋藤規久雄(三)は平署で捜査中であつたが昨十二日東京市王子署に逮捕された旨通達あつた

同人は豫て知り合の茨城縣下館町長谷川龜太郎が

## 十數名入り亂れ “漁夫と土工”大亂闘

警官隊出動して鎮ぶ

十一日午後八時半頃江名町中ノ作料理店濱屋方前道路において同町鮮人土工金森(一)と漁夫平田剛(二)の兩名が口論の上金森が平田のため殴られたのを同僚の岡本味(三)が更に平田を毆打し瀕死の重傷を負はせたこと 端を發し漁夫と土工の喧嘩となり双方十數名のものが亂闘を始めたので漸く警官隊が駆けつけて鎮撫したが金森は全治三週間の傷を負つた

## 旅の興行師 小刀脅迫

浪花節開演中

十二日午後六時頃平町聚樂航に開演中の浪花節を聴え

### 天 今晩は雪明日も 同様

今夜は雪明日も同様

### 今晩の部

後六、〇〇 子供の時間  
「發明王トマスエヂソン」  
東京放送童話研究会  
後六、一五 趣味講座「鴉細細谷十太夫」細谷辰雄  
後七、三〇 講演「議會政治の價值と失態」蠟山政道  
後八、〇〇 落語「猫化」三遊亭圓馬  
後八、二〇 舞臺劇「梅忠」

### 明日の部

前七、〇〇 現代語講座  
「新しい會話語と流行語との動向」渡邊均  
前七、二〇 朝修養「H本書記抄」中村直勝  
前九、〇〇 家庭メモ

は舊臘中秋縣仙北郡島尾村細川はつば女やゑ子(一)を埼玉縣北足立郡谷塚村淺井佐平力へ周旋しこの前借金八十圓を母へ返さず横領費消これが爲郷里の母親はつさん病床に薬も買はずに死を待つばかりであるといふ由を辯護士石川恒治氏から平署へ青木の説諭願ひがあつた

### 前六、二五 基礎英語講座

(一) 岡倉由三郎  
青年の政治思想「鶴澤總明」  
2「選舉公正と青年」丸山鶴吉  
後八、〇〇 五俣謙「沖揚音頭」北海道餘市町青年團  
「遠島其句」宮城縣宮城郡福田町青年團 古瀬田  
瀨子 愛知縣高橋村南古瀬田 愛知縣高橋村南古瀬田 愛知縣高橋村南古瀬田  
「捕鯨唄」山口縣仙崎町有志「瀬戸川」有田有志  
長縣輪瀨戸町有志「加世田」田武十郎歌「鹿兒島縣加世田」青島團  
後八、五二 舞臺劇「皇國は輝く」河合明石他

湯本の籠拔犯人 一面識のない女を利用して 達者にも妹と騙り詐取

昨年十二月廿五日夜湯本町料理業川又家酌婦を替玉に四百五十圓を詐取逃走した籠拔犯人栃木縣鹽谷郡丹生村齋藤規久雄(三)は平署で捜査中であつたが昨十二日東京市王子署に逮捕された旨通達あつた

同人は豫て知り合の茨城縣下館町長谷川龜太郎が

十數名入り亂れ “漁夫と土工”大亂闘

警官隊出動して鎮ぶ

十一日午後八時半頃江名町中ノ作料理店濱屋方前道路において同町鮮人土工金森(一)と漁夫平田剛(二)の兩名が口論の上金森が平田のため殴られたのを同僚の岡本味(三)が更に平田を毆打し瀕死の重傷を負はせたこと 端を發し漁夫と土工の喧嘩となり双方十數名のものが亂闘を始めたので漸く警官隊が駆けつけて鎮撫したが金森は全治三週間の傷を負つた

旅の興行師 小刀脅迫

浪花節開演中

十二日午後六時頃平町聚樂航に開演中の浪花節を聴え

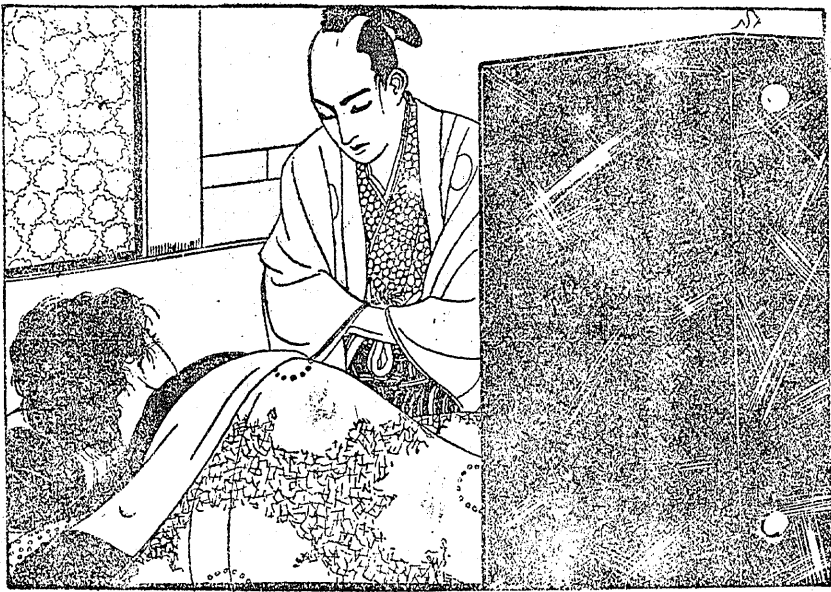




繞る解瓦解の設今 (上巻) 悟道軒圓玉(作) 丸尾至陽(書)

四六 おそのの病氣 森九郎右衛門は萬之助を見てゐたが 九『京都に參つて修業いたすと』 萬『左様にございます。彼の地にて一修業いたしました。出世の綱をにぎりませう』 九『それは不思議だな、京都に參つて何うして運命を開拓する、彼の地は今大分血なまぐさいその血なまぐさい風の吹く土地に參つてどうして出世の綱をにぎることが出来るか、これ萬之助、貴様とおれとは伯父甥の仲だ、いつほりを申すなよ、當家を相續いたすは好ましからざるため、その様な口實をまふけるかまた娘が氣に入らぬか』 萬『イエエその様なことはございませぬ』 九『さすれば京都に參るには及ばぬではないか、聞くところによると近頃浪人共が京都に集まつて幕府の政事上について大いに反抗いたし、また幕府のためにつくすものを國賊と申してこれを暗殺いたすとのことである。それらを防ぐために新撰組が居つて、勤王の假面をかむつて幕府に反抗い

底を打ち明けることも出来ぬ、といつて無断にてこゝを逐電しては恩義にそむく機を見て何とか策をもうけ當家を立退かうと決心してそれ以來あまり外出もせずこゝに止まつて居る、伯父の森九郎右衛門及び伯母はよろこび萬之助々々といつて大層愛した、娘のおそのを成るべく近づかせるやうにする、おそのは自分が生涯をまかせるはこの萬之助と思ひ大事にあつたが大切にされるだけ、萬之助は頼るつら、かかねて



だその経過がよくない、醫者の鹿島安元が 安『森殿、何うもお娘御の御容子が面白くござらぬ、これは勞症でござらうか、何うぞ御遠慮なく他の醫者にも看せて頂きたい』 と九郎右衛門に動告した 勞症といへば今の肺患、九郎右衛門心配して當時江戸市中で名醫といはれる者を二三人呼んで看せたがみな安元の診たごとく勞症だと申す、一日に熱のさし引が度々あつて食欲もおとろへ折々略血する、次第々々に衰弱して年が變つて世は一陽來福の春をむかへたが、おそのは門松を見ることもならず病床に居り刻々に死の道へ近づく様子、萬之助も大いに心痛して、お伯父夫婦への恩報じとかたはらに、つぎ添うて看護をいたした、しかしおそのの経過はまず、一險惡、と正月の十五日今日は同志と共に坂

で来るから今の時勢に憤慨して活動いたさうと思ふも無理ではない、然し江戸に居ればとて活動することが出来るであらう、貴様のためならぬことは決して申さぬよく考へて見ろ』 といはれ、萬之助も心の

の計畫はいよいよ行に着手することになりその期日は正月十五日と確定した、最初は流行、感冒、あらうと當人は勿論、森一家もさして心、と、かかねて

下門にて安藤閣老を襲撃する當日ところが十四日の夜半よりおそのの病氣が一層おもり、夜は明けが少しも氣分、恢復せぬ、醫者は薬をあてかへてかういふ風の手あてをなさいと萬之助に頼んでもとるさア萬之助の心中は燃え立つやうおその病氣が大車だといふてこの義舉にそむくやうなことがあらば、同志のものには卑怯者といはれ、末代まで笑はれるであらう、さりとて今死ぬといふこの病人を見捨て、立つことは情に於いて憚りぬ、何としたものかと思ひ、思案にくれた。その時におそのは萬之助をデツと見てゐたが、おその『内田さん、何ぞあなたには深く思ひつめたことがあるやうに思はれます、どうぞそれを明かして下さい』 と云はれて内田はホツと嘆息した。

貴方の御家庭に

お手不足は御座いませぬか 本會を御利用下さい

直に家政婦派出します

親切 料金は極め低廉で

御病人の御家庭 留守 居番 炊事や、雑用 年寄やお子さんの付添

派出多忙に付會員至急募集

上原家政婦會

會主 産婆 上原通子

齒科口腔外科 レントゲン科

院長 東京齒科大學士 原 精一

原齒科醫院

平町土橋通り 電話三一三番

外科 門線 X

上田外科病院

平町 南町 電話一二九番

福島縣平町二丁目

西村屋藥舖

藥師 鈴木堅助 電話三三三番 振替(東京六)二九九(仙臺)一〇二〇

吉田眼科醫院

平紺屋町 電話六八番 醫學士 吉田久雄

市原醫院

平町田町(電一一四番) 内科 小兒科 市原卯太郎 外科 梅毒・淋病 市原三三男

入院隨時